

大井町の公共交通の 現状と課題について



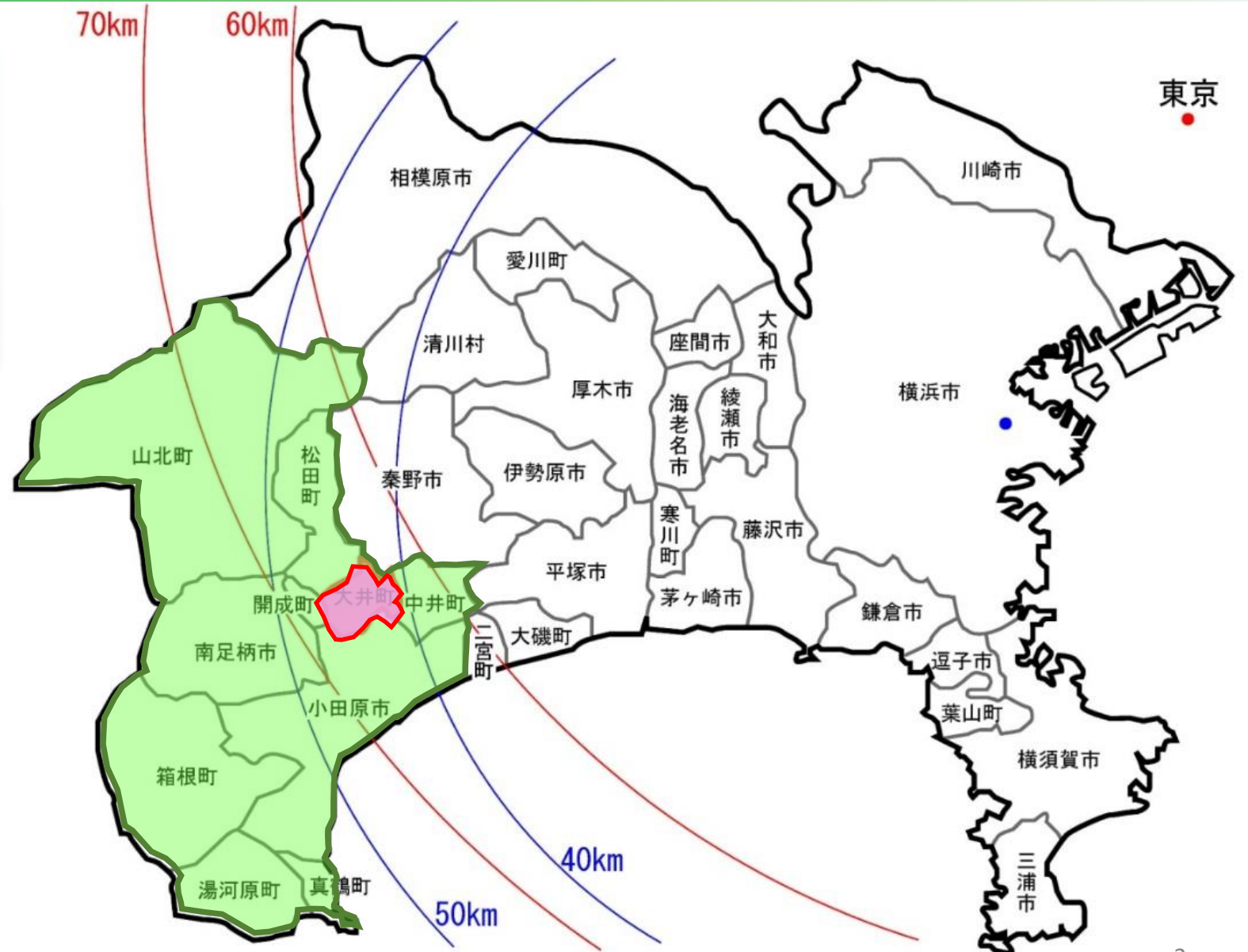
大井町 企画財政課

1. 大井町について



■ 面積・位置

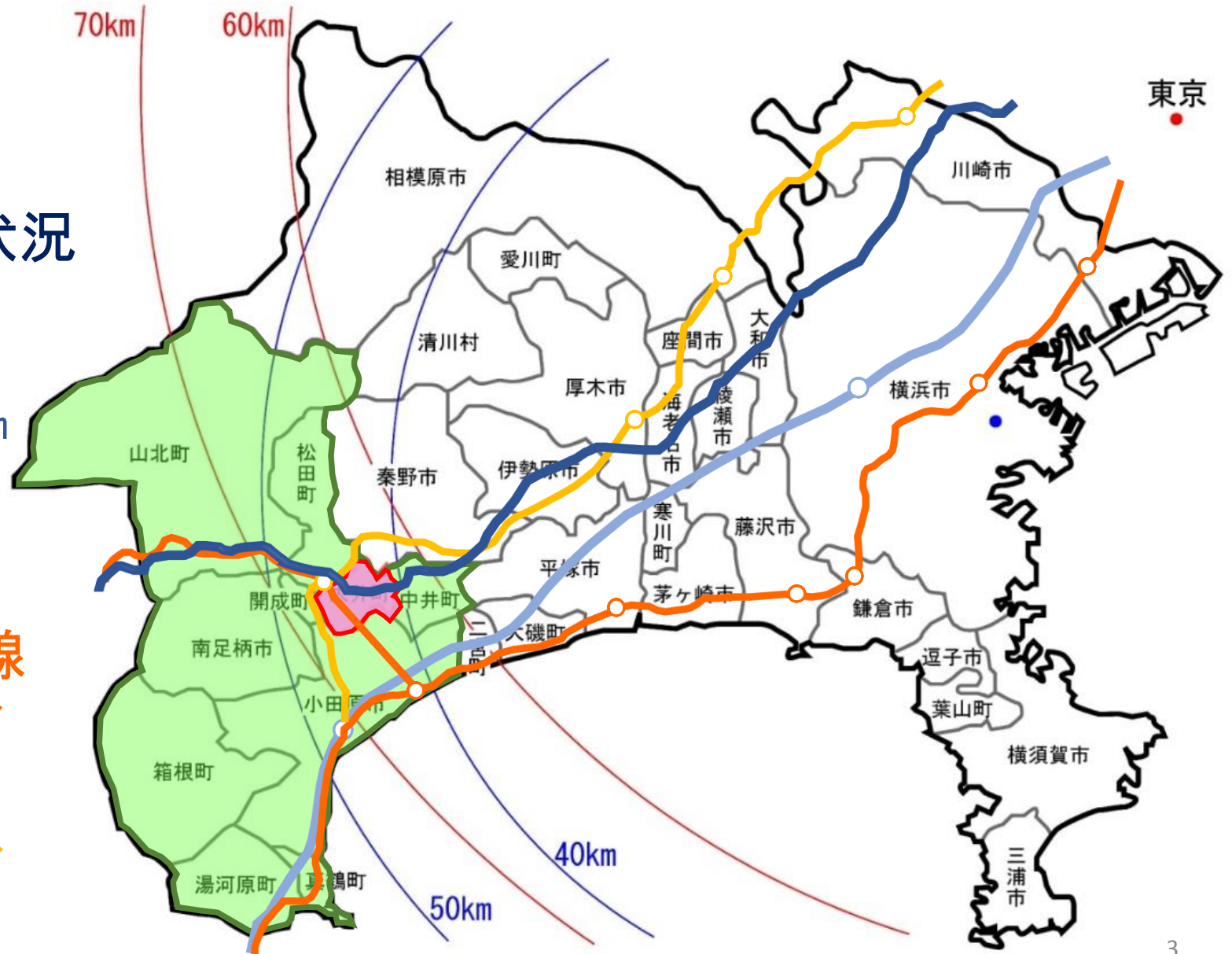
- ・ 面積 14.38 km²
- ・ 横浜市から約50km
- ・ 東京都心からは約70km



1. 大井町について

■交通ネットワークの状況

- 東名高速道路
東京IC⇔大井松田IC 約60km
- 東海道新幹線
東京⇔小田原 36分
- JR東海道線・御殿場線
東京⇔上大井 1時間20分
- 小田急小田原線
新宿⇔新松田 1時間20分

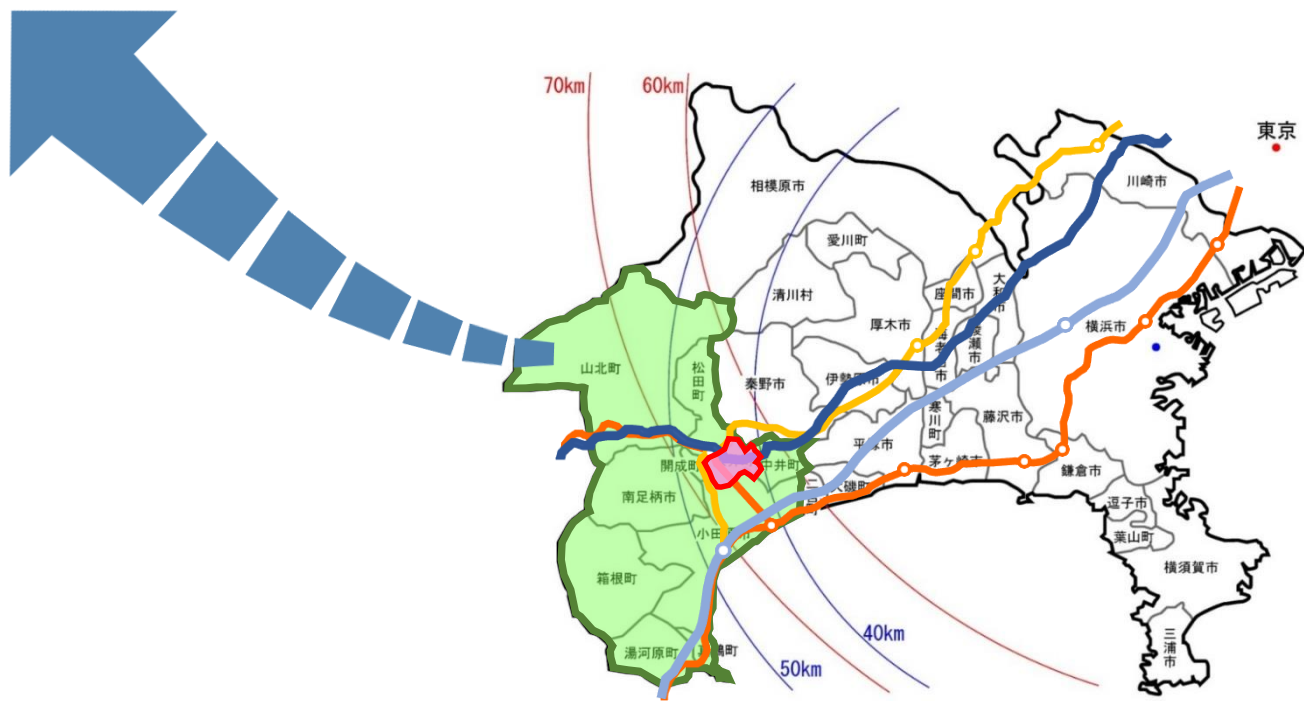


1. 大井町について



■ 最寄駅

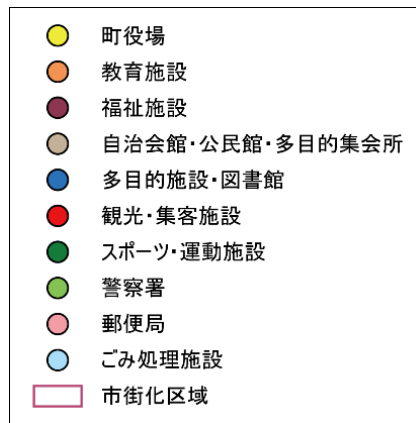
- ・ 小田急線
「新松田駅」……町中心地より3.0km
- ・ JR御殿場線
「上大井駅」……町中心地より1.0km
「相模金子駅」……町中心地より1.2km



1. 大井町について

■地勢

- ・西の平坦地
 - ⇒主要施設が多く立地している。
 - ⇒役場周辺に施設の集積
- ・東の丘陵地
 - ⇒そうわ会館
 - ⇒農業体験施設 四季の里

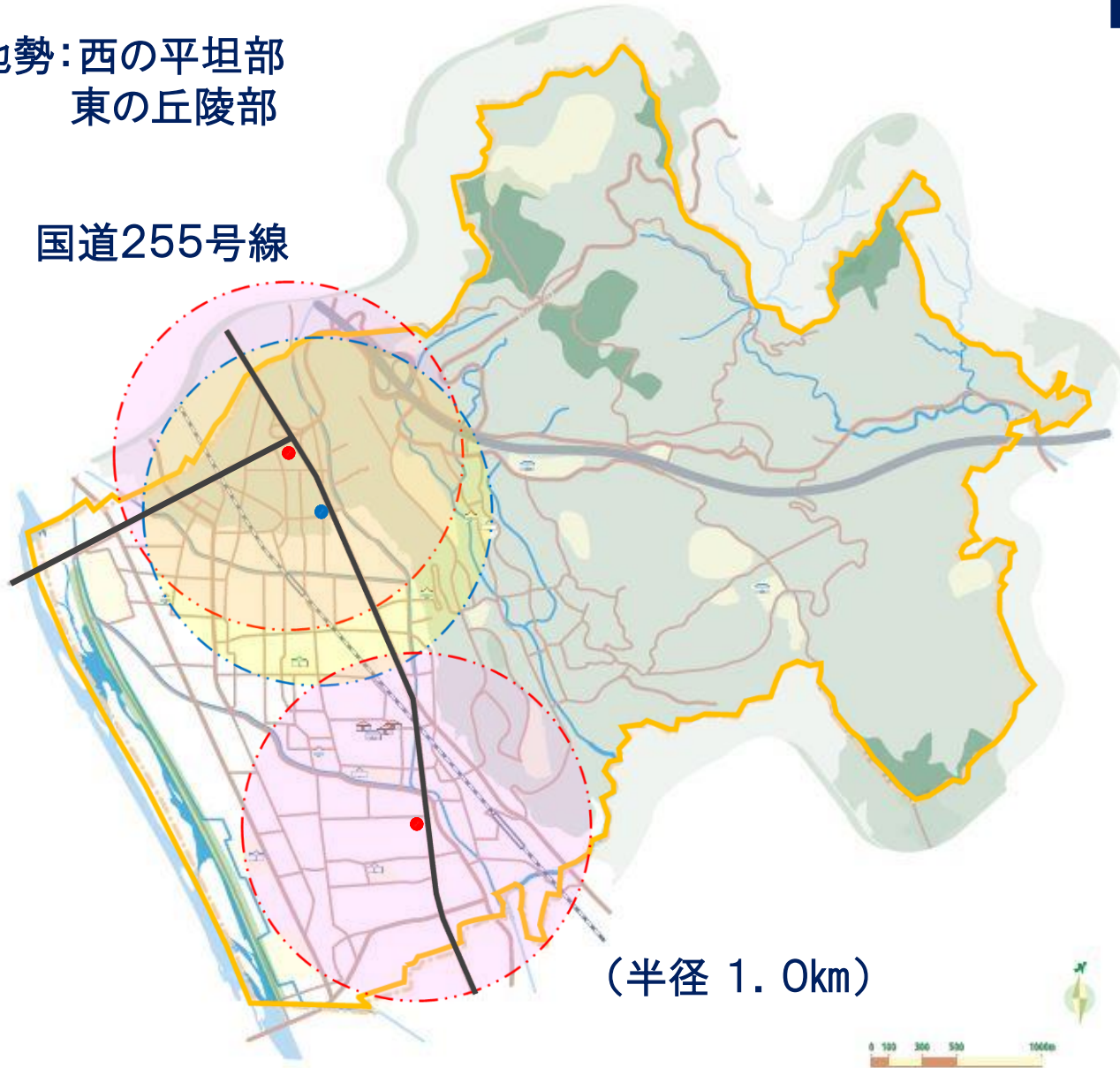


出典: おおい都市マスタープラン

1. 大井町について

地勢：西の平坦部
東の丘陵部

国道255号線



■ 主要施設等は、平坦部地域に多い

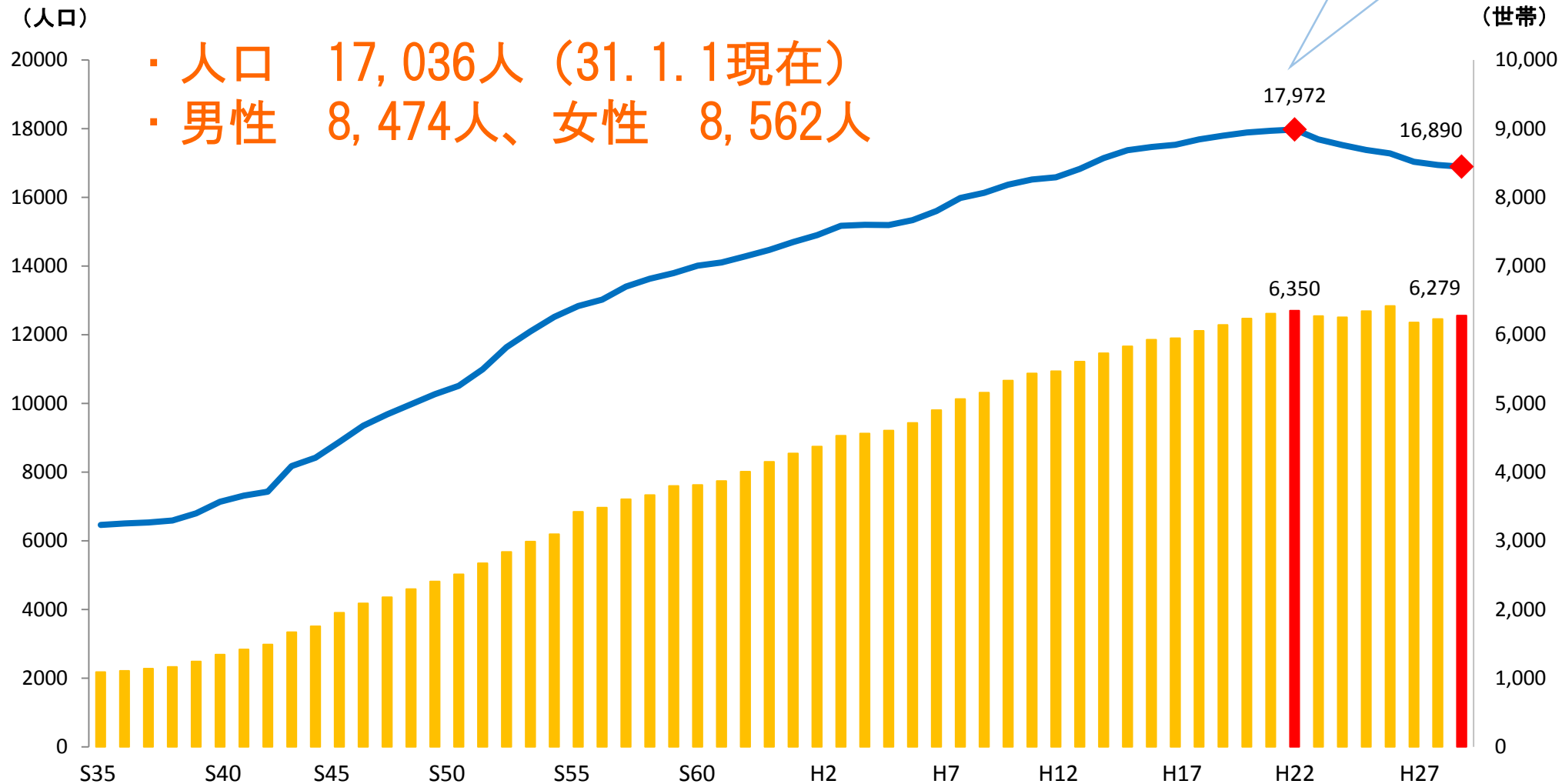
- 住居区域をカバーする商業施設
概ね1.0km以内に大型スーパー
町内2箇所のショッピングモール
 - 国道255号線を含む沿線サービスの充実
 - ・ドラッグストア 4店舗
 - ・ホームセンター 2店舗
 - ・衣類関連ショップ 6店舗
 - ・家電量販店 1店舗
 - ・コンビニエンスストア 6店舗
 - 医療施設(一次医療機関)
 - ・内科、整形外科、耳鼻咽喉科等 8施設
 - ・歯科 8施設
- ※ 隣接町に二次医療機関があります。

- ショッピング・モール(大型スーパーを含む)
- 大型スーパー

1. 大井町について

人口減少傾向

■人口動態

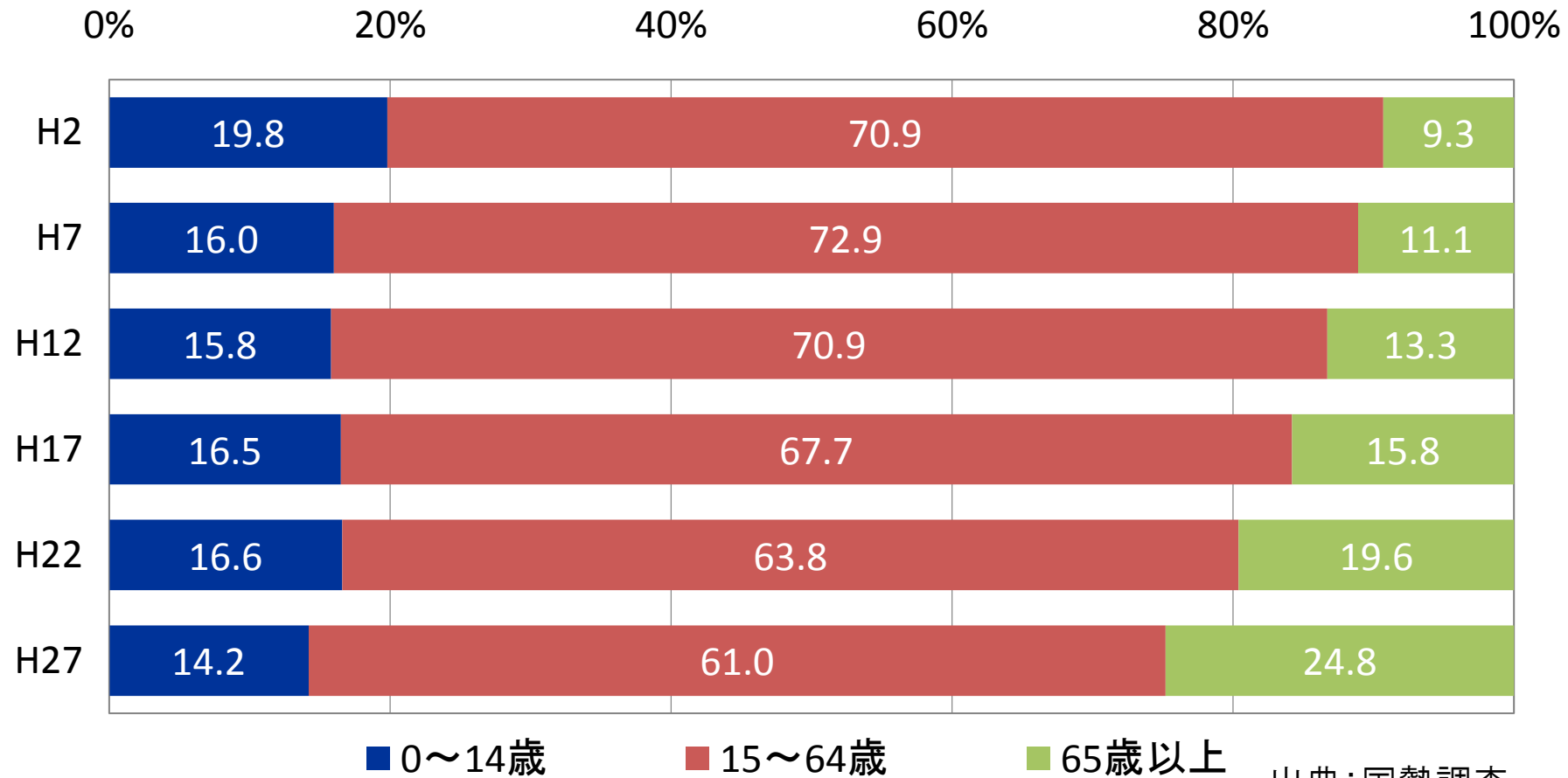


出典：国勢調査、神奈川県人口統計調査報告

1. 大井町について

■ 年齢構成 (H31. 1. 1現在)

- ・ 年少人口 12.4%
- ・ 生産年齢人口 59.5%
- ・ 老年人口 28.1%



人口減少・少子高齢化の進展

1. 大井町について

■人口密度（H30. 12. 31現在）

(3)大井町の大字と自治会



密度(人口総数)	
赤	16,010以上 ~ 121,487未満
黄	121,487以上 ~ 457,635未満
緑	457,635以上 ~ 1000,017未満
青	1000,017以上 ~ 3008,391未満
紫	3008,391以上

- ・ 金子地区をはじめとする平坦地に人口が集中
- ・ 丘陵地の人口密度は低い。

大字別面積・人口・人口密度一覧表

大字	面積	人口	人口密度	備考
金子	2.78 km ²	9,412 人	3,386 人	
金手	1.05 km ²	1,828 人	1,741 人	
上大井	0.94 km ²	2,936 人	3,123 人	
西大井	1.15 km ²	1,591 人	1,383 人	
篠窪	1.72 km ²	186 人	108 人	
柳	1.03 km ²	105 人	102 人	
高尾	0.68 km ²	76 人	112 人	
赤田	1.93 km ²	216 人	112 人	
山田	3.10 km ²	815 人	263 人	
合計	14.38 km ²	17,165 人	1,194 人	

※人口は、平成30年12月31日現在の住民基本台帳

※大字別面積は、PasCAL(GIS)にて求積

2. 大井町の公共交通

●電車

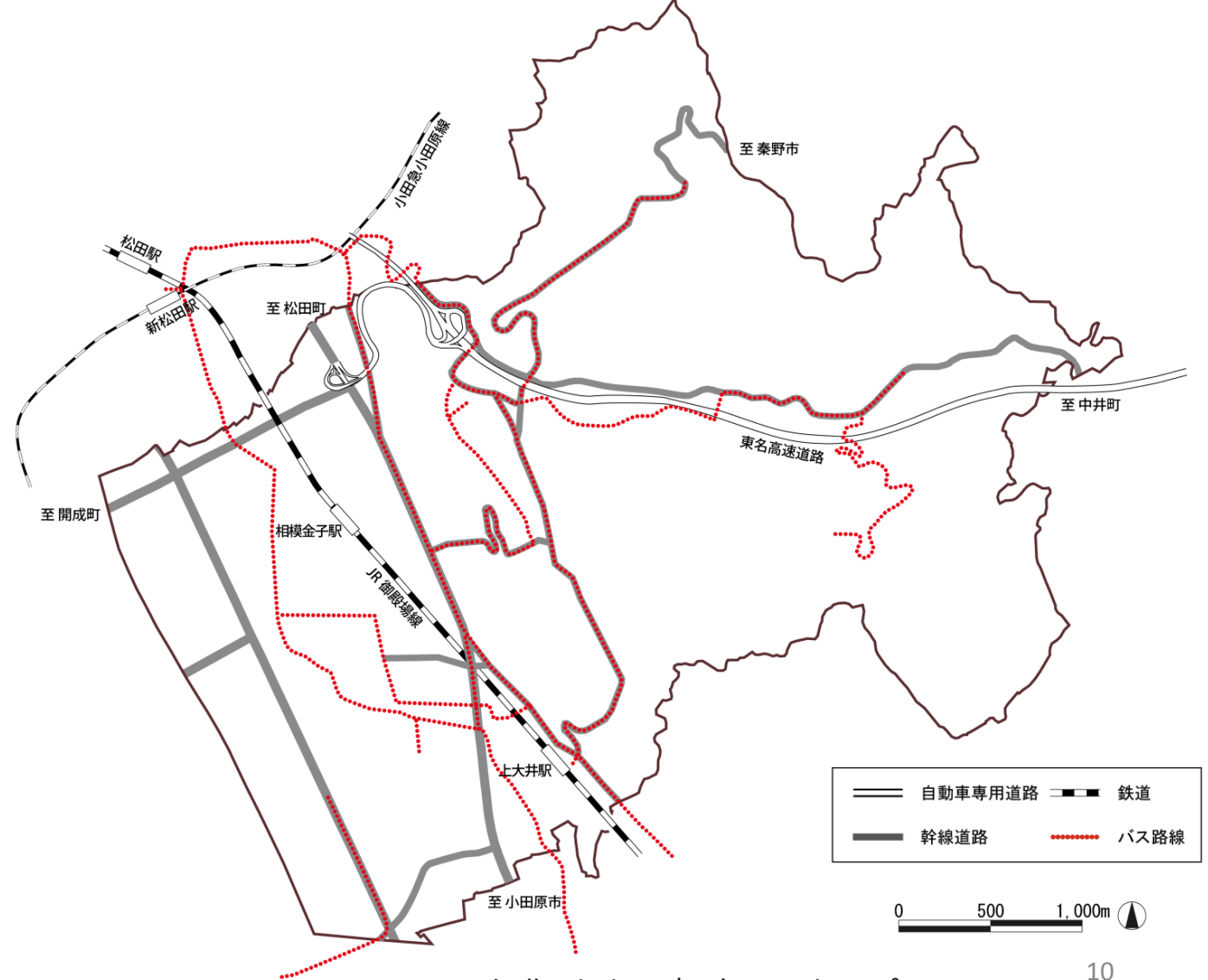
JR御殿場線 上大井駅
相模金子駅

●路線バス

富士急湘南バス(株)



公共交通の整備状況



出典:おおい都市マスタープラン

2. 大井町の公共交通

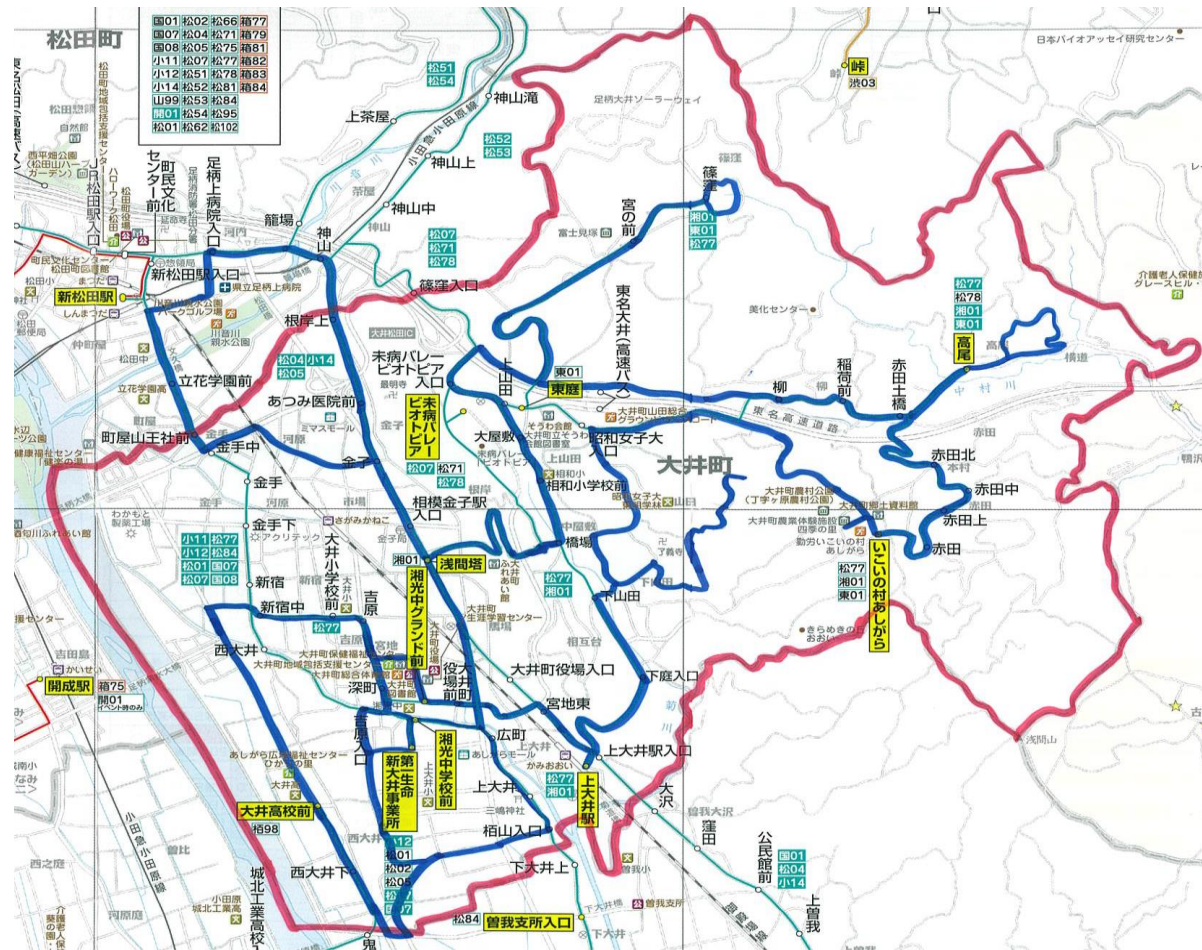
●巡回福祉バス

ふれあい悠悠

高齢者・交通手段を持たない町民の方の
外出や移動を支援するため。
月曜日・火曜日・金曜日の週3日
町全域を網羅している。
無料。



ふれあい悠悠の運行ルート



3. 大井町の公共交通対策事業

● 企画財政課

- ・相和地区路線バス確保対策事業費補助金
（富士急湘南バス(株)へ赤字の1/2を町が補助）
- ・相和地区路線バス補完事業
（篠窪地区の小・中学生の通学時のバス路線を補完のための代替交通）

● 教育総務課

- ・児童生徒援助事業費
（相和地区から通学する中学生にバス通学費（片道運賃×1/2×通学日数）を補助）

● 介護福祉課

- ・巡回福祉バス「ふれあい悠悠」の運行
（高齢者や交通手段を持たない住民へのサービスとして、2路線の福祉バス巡回事業をシルバー人材センターに委託）

4. 大井町の課題

- 相和地区における路線バスの減便・撤退
 - ⇒人口減少及び自家用車の普及における利用者の減少
 - ⇒高齢者や学生のための移動手段の確保
- 平坦部地域と丘陵部地域を結ぶネットワークの強化
- 巡回福祉バスにおけるコミュニティバスへの移行の検討
 - ⇒町事業の送迎の空き時間を活用しスタートしたが、福祉バスとしての運行にも限界がある。
- 大井中央土地区画整理事業・都市計画道路整備の推進に伴う公共交通の再編
- 東西方向の広域連絡網機能の強化
 - ⇒県西地域の未病改善拠点施設「未病バレー『BIOTOPIA』」オープン
 - ⇒小田急線「開成駅」急行列車の停車駅に
- 交通事業者及び地域住民の声を聞く場がない。
 - ⇒交通事業者の路線変更・減便意向に対して、行政と事業者のみのやり取りとなっている。
 - ⇒地域住民のニーズと一致していない路線の時刻・ルートになっている可能性もある。



地域公共交通会議の設置

5. 大井町地域公共交通会議設置について

● 構成員

・町民代表

自治会代表 3名、老人クラブ連合会長 1名、社会福祉協議会長 1名、商工振興会長 1名
PTA連絡協議会長 1名、相和活性化委員長 1名

・交通事業者及び学識経験者

富士急湘南バス株式会社 1名、県タクシー協会小田原支部 1名
県交通運輸産業労働組合協議会 1名、学識経験者 1名

・地域公共団体等

関東運輸局専門官 1名、県交通企画課長 1名、県西土木事務所長 1名
松田警察署長 1名、副町長及び町職員 5名

● 設置により期待できる効果

- ・地域住民が交通事業者の今後の運行計画等を事前に聞く機会を設けられる。
- ・地域住民の声を直接交通事業者へ伝えることができる。
- ・町の今後の公共交通のあり方について、様々な立場の構成員で考えることができる。
- ・大井中央土地区画整理事業推進に伴う公共交通の再編に対する協議の場となりえる。

大井町公共交通会議

今後の進め方について



大井町 企画財政課

- PDCAサイクルを実施する体制を構築する。
 - ・大井町地域公共交通会議において、PDCA(計画・実行・評価・改善)を実施し、計画的に取り組むことによって、事業を効果的・効率的に進めていく。
 - ⇒定期的に会議を開催し、情報共有を行い議論を深化させていく。
- 現状の把握と課題の抽出
 - ・地区ごとに現状や課題を整理するため、住民の外出状況、移動手段、ニーズなどを把握し、課題を抽出する。
 - ⇒各自治会に協力してもらい、ヒアリングを行う。
 - ⇒アンケート調査を行う。
- 基本方針や目標の設定
 - ・上位計画におけるまちづくりの方向性、公共交通の位置付け等についての整理・把握。
 - ・地域公共交通網形成計画策定の検討
- 巡回福祉バス「ふれあい悠悠」について
 - ・平成31年度で運行が終了する可能性があるため、新たな交通システムについて検討を行う。

● 平成31年度の会議の開催について

- ・第2回交通会議 7～8月予定
- ・第3回交通会議 11～12月予定
- ・第4回交通会議 3月予定